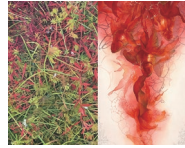


7月29日(水)～8月3日(月)

それぞれのしるし -金沢美大 油画と染織-

金沢美術工芸大学の美術科油画専攻と工芸科染織コースに在籍、卒業した若い作家と、大学で教鞭をとる作家(油画:大森啓先生、染織:加賀城健先生)による展覧会を開催いたします。油画(絵画)と染織(工芸)は、同じく平面を起点とするメディアでありながら、共に展示されることは決して多くはありません。今展では二つの表



現の重なりと隔たりを浮かび上げさせ、それぞれの立脚点と可能性を示します。
(左)橋本 充智「流れ星になる練習」(72×100cm ※部分)
(右)矢賀 紀香佳「変異」(160×40cm ※部分)

せき しゅん いち

関 俊一 絵画展 -花の声、果実のひかり-

高島屋では初となる関 俊一先生の個展を開催します。関先生は植物の生命感、花卉や果実を透過した光の美しさに魅せられ、古典的な技法を駆使し、油彩の透明感で光を表現するなど対象の美しさや存在感に負けない絵画表現を続けておられます。ぜひこの機会にご高覧ください。



「果物の静物」(20号M)

ギャラリートーク ■7月29日(水)午後3時から

8月5日(水)～10日(月)

第2回 日本画「そらみつ」
竹内浩一先生に学ぶ テーマ「命とともに」

「そらみつ」が「やまと(大和)」にかかる枕詞であることにちなみ、新進から気鋭の10名の作家が「大和(日本)」=日本画」と捉え、伝統を重んじながらも、新たな日本画を探究、制作することを目的としたグループ展。2回目は「命とともに」と題し、賛助出品いただく竹内浩一先生からの学びを発表いたします。

(出品作家)竹内 浩一【賛助作品】

久米 伴香 佐藤和歌子 中村 紀菜 能島 浜江 福岡 正臣 藤島 大千
峯石 まどか 森下 恭介 諸星 美壽 山口 曉子 (敬称略・50音順)



竹内 浩一「出待ち」(25号)

ギャラリートーク ■8月8日(土)午後3時から

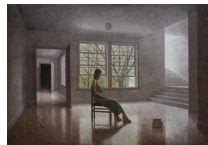
8月12日(水)～17日(月) ※8月19日(水)は全館休業日

やま もと けい すけ

山本 桂右 展 -陰翳礼讃-

山本桂右先生の3年振りの個展を開催します。山本先生は架空の部屋の中に差し込む光や風を丁寧に描くことで静寂で吸い込まれるような、また何かを暗示させるような空間表現で高い評価を得ています。今展では近年の新しい試みである静寂な空間に人物が存在する作品も含め新作の数々を発表いたします。

「Light Time Silence #3」(100号P)



つる た とも こ

鶴田 朋子 展 あいだ-In Between

美しい色彩と繊細なレイヤー表現が印象的な、鶴田先生の6年ぶりの個展となります。アメリカやシンガポールで幼少期を過ごされ、中国水墨画の伝統を学ばれた経験から生まれる、どこにも完全には属さない「あいだ」の感覚が画面に立ち現れます。本展では初めて瓢筆のモチーフを軸に、色と形が現れては滲み合う空間を展開いたします。



「Not Yet Knot」(4号)

8月20日(木)～24日(月)

国展100回記念 五部合同企画展

総合美術団体「国画会」が運営する日本最大級の公募展「国展」は今年第100回を迎えました。これを記念して、絵画・版画・彫刻・工芸・写真の五部の会員有志により「国展100回記念 五部合同企画展」を開催いたします。「創作の自由をもって第一とし、常に個性を重んじ、何ものにも既定拘束されない精神の自由を標榜する」をモットーに制作された作品の数々をぜひご高覧ください。

8月26日(水)～31日(月)

こ ち へい

第20回 「個の地平」

国画会の中心メンバーであり現代洋画壇を牽引される先生方により2007年に立ち上げられたグループ展「個の地平」は、このたび最終回となります。今回も著しく変化し多様化していく時代の中で、メンバー12名のそれぞれが、「描くことへの姿勢」を制作によって示し、「絵画の本質」へ迫る渾身の作品をこれまでの集大成として一堂に展覧いたします。

(出品作家)

安達 博文	稲垣 考二	梅澤 希人	大沼 蘭	小川 浩司
五島 綾子	佐々木 豊	田代 甚一郎	田中 いっこう	津地 威汎
前田 昌彦	増地 保男			(敬称略・50音順)

8 12 24
WED MON
※8月18日(火)は開催いたします。※8月19日(水)は全館休業日。

なが しま ち ひろ

永島 千裕 展 My Safe Room



アクリル絵具を使い、主に少女をモチーフに、日常から得た何気ないイメージを重ね、鮮やかな色彩で表現された作風の永島先生の待望の初個展です。一見すると甘くポップな雰囲気をもとつつ、広がりのある絵画空間にある種の不穏さまでも漂わせる奥深さがある、独自の世界観をお楽しみください。

「My Safe Room」(80号)

8 26 9 7
WED MON
※9月1日(火)は開催いたします。

しも やま なお き

下山 直紀 SHIN×獣 selection



「Plasma」(70×150×高さ56cm)

確かな彫刻技術による表現、表現の先にあるテーマが木彫家として際立つ下山先生の4年ぶりの個展です。「新」「真」「神」といった複数の意味を内包するSHIN×獣。これらの生き物の形は、現世と神秘の領域の境界に立ち上がる輪郭です。いずれかの意味に固定されない、未確定な存在の気配を感じてください。